

【全日程】

13：00～13：10 集合（市役所2階 201会議室）・日程説明

13：10～14：00 移動・現地調査

14：10～15：00 会議

○1号車エブリイ（井上、菅波）

○2号車ハイエースコンピューター澤村運転士（委員、教育長、教育次長、課長、総括、）

調査行程	
時間	内容
13：10	市役所職員通用口集合
13：20～13：35 (15分)	田村神社スギ
13：45～14：00 (15分)	民具収蔵庫

【1 調査】 (2) 市内指定文化財等の現地調査

調査1 田村神社スギ (指定：昭和42年3月1日)

所在地 篠木上篠木12番地



台風19号被害状況 (令和元年10月14日(日)撮影)

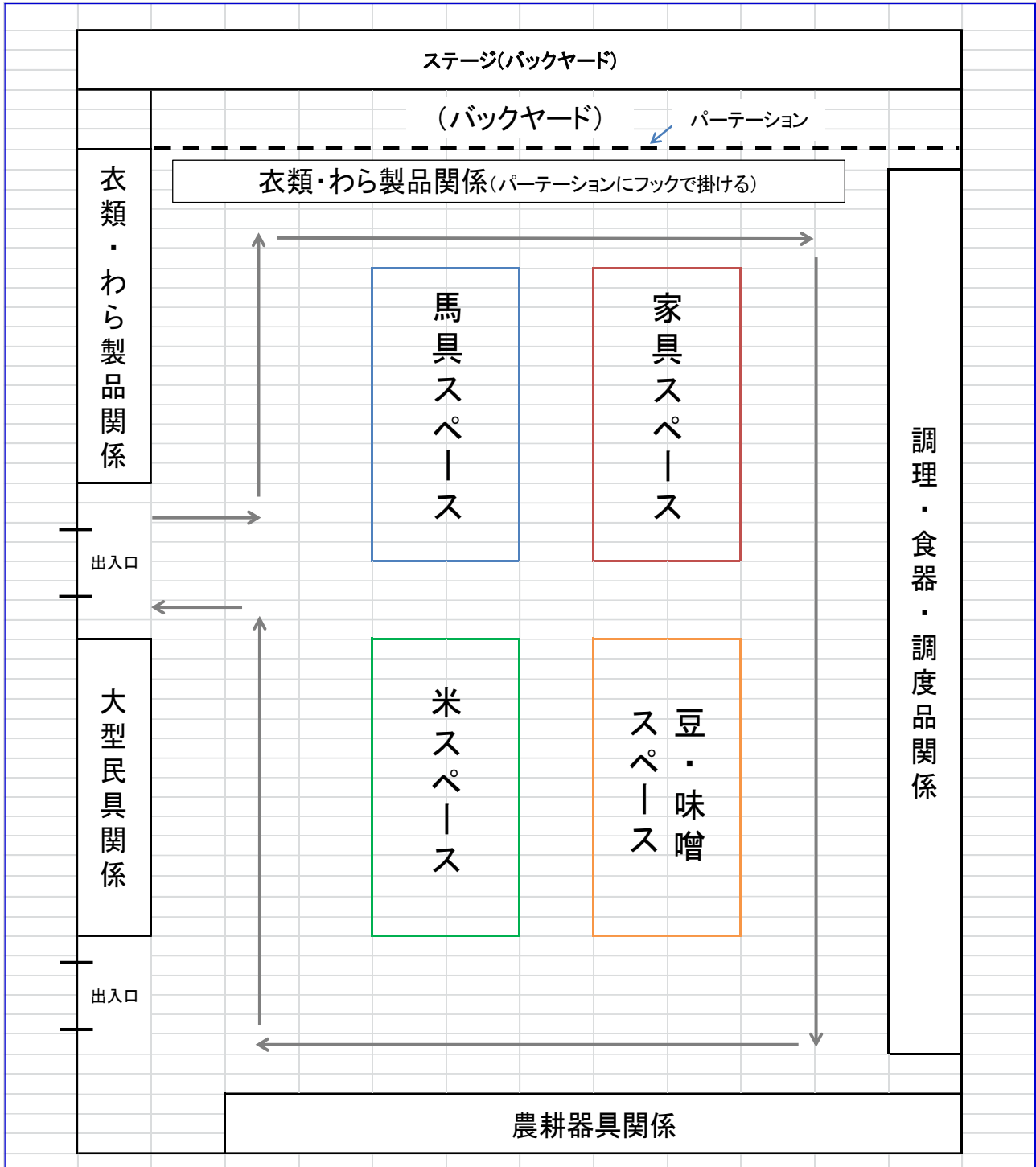


台風19号被害状況 (令和元年10月14日(日)撮影)

調査2 民具収蔵庫

民具展示概要（現地調査時資料）

市所有の民具について、下記配置図のとおり展示を進める予定。



【2 会議】

(1) 教育長挨拶

(2) 会議録署名委員の指名について

選出方法について

(3) 議事

- | | |
|-------|------------------------|
| 報告第1号 | 令和元年度滝沢市文化財事業の進捗状況について |
| 報告第2号 | 民具の展示について |
| 報告第3号 | 台風19号による文化財の被害状況について |

報告第1号 令和元年度滝沢市文化財事業の進捗状況について

(1) 文化財関係

事業・活動名	実施状況	実施内容
文化財調査委員会議	会議・調査 1回目 7月26日(金) 2回目 12月6日(金) 3回目 2月～3月予定	1回目 会議・現地調査 2回目 会議・現地調査 3回目 会議・調査報告
滝沢市の歩み講座 (郷土史活用事業)	全2回 1回目 8月24日(土) 交流館学習室 13時～15時30分 『滝沢市の歩み』を考える —自治体史のあるべき姿— 講師 熊谷常正氏、八田佐智氏	滝沢市の歩みをテキストに 歴史講座を開設 参加者20名
指定文化財見学会 (郷土史活用事業)	2回目 9月29日(日) 9時～12時15分 講師 光井文行氏	指定文化財等の見学会 (円筒分水工、餓死供養塔他) 参加者9名(12名申込み)
文化財パネル展示	指定文化財のパネル展示を通じた指定文化財の周知を図る	郷土芸能まつりでの展示を予定 (無形民俗文化財)
出前講座事業	「たきざわの文化・歴史紹介」 年間(申し込みに応じ)	年間
文化財掘り起し事業 (文化財指定関連)	・カワシンジュガイ生息調査 県立博物館学芸調査員 渡辺修二 4回～5回程度 1回目 5月22日(水) 芋桶沢 2回目 6月19日(水) 芋桶沢 3回目 7月31日(水) 芋桶沢 4回目 8月28日(水) 芋桶沢 5回目 9月26日(木) 巡り沢 6回目 10月17日(木) 芋桶沢	(調査河川等) 芋桶沢を中心に調査 生息 約4,000個 約30,000個 約5,000個 0個 約20個 約8,000個
	・五龍のフジに関する情報交換 1回目 7月18日 交流館 2回目 7月28日 角掛神社	元村周辺自治会集会出席 五龍のフジ管理作業
文化財等保護整備	1回目 5月31日(金) 2回目 6月3日(月)	市内文化財巡視 餓死供養塔草刈

事業・活動名	3回目 6月19日(水) 4回目 7月29日(月) 実施状況	市内文化財巡視(山形県沖地震) 市内文化財巡視 実施内容
文化財等保護整備	5回目 10月14日(月)	市内文化財巡視(台風19号)
民俗芸能保存・伝承 (無形民俗文化財)	・郷土芸能保存団体代表者会議 1回目 5月30日 市役所 2回目 8月8日 市役所 3回目 10月23日 市役所 4回目 12月4日 市役所 5回目 1月中旬予定	代表者会議・まつり打合せ 年間4回～5回(予定)
	・郷土芸能保存団体支援活動 ・郷土芸能出演依頼の調整	年間を通して調整
	・民俗芸能功労者表彰推薦 (市郷土芸能団体協議会から)	岩手県民俗芸能団体協議会表彰 ⇒本年度は大沢田植踊り保存会の大坪佐市会長が受賞
民俗芸能保存・伝承 (無形民俗文化財)	・滝沢市郷土芸能まつり 令和2年1月26日(日)	会場:ビッグルーフ滝沢
その他	有形民俗資料民具類保存整理	展示方法の検討 (民具類の移転は完了)





カワシングイ調査
 10月17日(木)
 芋桶沢下流

(2) 埋蔵文化財関係

・埋蔵文化財調査

事業・活動名	実施状況	実施内容
埋蔵文化財有無確認調査 (GIS 他)	埋蔵文化財包蔵地の確認 GIS 257件 Eメール 3件 FAX 94件 合計 354件	Eメール、FAXにて回答 (11月22日現在)
	事前申出書による指導 公共 4件 民間 5件 合計 9件	文書による回答 (11月22日現在)
埋蔵文化財試掘調査	埋蔵文化財の試掘調査 民間 (93条) 21件 公共 (94条) 1件 合計 22件	高柳遺跡・試掘指導 牧野林遺跡他は遺構・遺物の出土は無し。 (11月22日現在)
埋蔵文化財発掘調査	発掘調査	年間 (現在、予定無し)
埋蔵文化財調査報告書作成事業	調査報告書作成	年間 (予定無し)

・調査・研究

事業・活動名	実施状況	実施内容
--------	------	------

<p>収蔵資料の再調査</p>	<p>将来の展示替えに備えて再調査 (国庫補助金・地域の特色ある埋蔵文化財活用事業) 平成31年4月1日～令和2年3月31日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文早期前葉から縄文前期の遺物について台帳整備 ・過去の調査写真(カラースライド)のデジタル化
-----------------	--	---

・教育普及活用

事業・活動名	実施状況	実施内容
<p>埋蔵文化財収蔵資料 展示公開</p>	<p>発掘調査の成果の展示公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月25日(木)滝沢東小6年生社会科見学 ・6月13日(木)鶉飼小学校3年生市内めぐり ・9月5日(木)柳沢小学校1～6年生社会科見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒44名、先生2名、合計46名見学 ・生徒121名、先生6名、合計127名見学 ・生徒18名、先生6名、合計24名
<p>埋蔵文化財収蔵資料 展示公開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9月18日(水)姥屋敷小学校1～6年生社会科見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒19名、先生5名、合計24名
<p>歴史体験事業</p>	<p>土器・埴輪の製作体験 火起こし体験・勾玉の製作体験</p> <p>個人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勾玉 117名・68件 ・はにわ・土器 21名・14件 <p>団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勾玉他 85名・1件 <p>合計 223名・83件</p> <hr/> <p>出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月17日(水) 大釜いきいきサロン <hr/> <p>講座他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月7日(日)紫波町ナックスホールひづめ館懇話会設立10周年シンポジウム「平泉と並び立つ「比爪」の実像を探る」 	<p>随時(11月22日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月4日(日)北陵タイガース子ども会 85名 (12月中子ども会2件予定) ・縄文土器作り 25名 ・「土器(かわらけ)からみた比爪」について報告 参加者 180名 ・参加者12名

	<ul style="list-style-type: none"> ・10月4日(金)湖山図書館講座「ミステリーと考古学—アガサ・クリスティーの世界」 ・11月18日(月)盛岡大学「博物館資料保存論」特別講師 ・11月25日(月)盛岡大学「博物館資料保存論」特別講師 ・令和2年1月16日(木)湖山図書館講座「考古学と松本清張」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東日本大震災による被災文化財の調査1」 ・「東日本大震災による被災文化財の調査2」
埋蔵文化財講座	<ul style="list-style-type: none"> ・12月7日(土)13時~16時 30分センター研修室「蝦夷の赤い土器」 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師4名の講演・パネルディスカッション

・職員研修

事業・活動名	実施状況	実施内容
埋蔵文化財発掘技術者講習会	発掘調査技術の技能・資質の向上	年間
発掘調査現地説明会	発掘調査された遺構・遺物について知見	年間

・連絡協調

事業・活動名	実施状況	実施内容
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	埋蔵文化財センター管理運営の連絡調整、連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・10月3日(木)・4日(金) 北海道・東北ブロック会議 北海道立埋蔵文化財センター 	北海道・東北ブロック会議 <ul style="list-style-type: none"> ・欠席
岩手県史跡整備市町村協議会	史跡の整備活用の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・6月21日(金)総会 矢巾町公民館 ・11月26日(火)・27日(水) 	総会・研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・欠席 ・出席

	文化財行政担当職員研修会 宮古市崎山公民館	
--	--------------------------	--

・施設の管理運営

事業・活動名	実施状況	実施内容
施設運営と史跡公園 の保存管理	埋蔵文化財センターや史跡公園 湯舟沢環状列石保存管理	年間
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月27日(月)、28日(火) ・ 7月1日(月)、2日(火) ・ 8月6日(火)、7日(水) ・ 9月25日(水)、26日(木) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈(第1回) ・ 草刈(第2回) ・ 草刈(第3回) ・ 草刈(第4回)

報告第2号 民具の展示について

1 展示概要

生業や衣食住に関するものなど、生活の幅広い分野にわたって使用されてきた民具の展示を行うもの。

2 展示内容

展示に当たっては、農具や生活用具を中心に取り上げ、当時の人々の暮らしに理解を深めるためのスペースとする。

ホール中央部に「農具」の中から、米や豆・味噌づくりの加工に使用された器具を加工の一連の流れに沿って展示する。また、馬具の展示も行い、農業に欠かせない存在であった馬との関わりに関心を持ってもらうよう展示する。

ホール壁面の展示棚には各種生活周辺用品を展示する。

(1) 米関係

笠、蓑、鎌、せんばこき、とうみ、俵 など

(2) 豆・味噌関係

釜、臼、杵、つまご など

(3) 馬具関係

馬そり、鞍、馬そり など



(4) 家具等生活用品関係

たんす、長持、鉄びん、食器、えじこ など

3 展示に向けた活動内容

活動名	実施内容
文化財調査委員会議 現地調査 7月26日(金)	ホール内展示状況の確認
展示内容検討・作業	ホール内展示作業(作業中)
ホール内一部公開	職場体験に来た学生数名と、睦大学所属の一般市民30名弱にホール内展示の状況を公開
11月20日(水)	市長視察
11月23日(土) 展示棚作業	ホール内の展示棚の作業
文化財調査委員会議 現地調査 12月6日(金)	ホール内展示状況の確認

報告第3号 台風19号による文化財の被害状況について

1 概要

田村神社のスギは、樹齢千年以上とされ、樹高29mの市内最大のスギの老木で、昭和42年3月1日に市指定文化財の市天然記念物として指定されました。しかし、平成22年11月剪定中に一部開口部が発見されたため、平成23年6月から7月にかけて樹幹腐朽(ふきゅう)診断を実施し、同年9月に田村神社氏子に診断結果を説明しています。

また、昨年度田村神社氏子総代の●●代表より相談があり、スギとカツラは空洞化が進んでいると思われ、周辺には住宅もあることから市指定を解除し、倒木出来ないかとの相談がありましたので、文化財の指定解除の流れを説明し、解除する理由として樹木の診断が必要であり、文化財調査委員会により審議が必要であることを説明しました。

2 台風被害の状況

- (1) 文化財名 田村神社のスギ(市指定天然記念物)
- (2) 状況 スギの上層部の枝1本が強風により折れ、下の枝が支えている状態。(写真参照)



写真1 被害状況 (10月14日撮影)



写真2 作業完了 (10月24日撮影)

3 台風被害の経緯

10月12日夜から13日早朝にかけて台風19号による強風のため、田村神社のスギの上部の枝が折れたとこのことを氏子総代より担当課に連絡が届き、10月14日早朝に現地にて氏子総代の方々とともに枝折れを確認した。

4 対応について

現地にて管理者である氏子総代の方々と協議したが、枝の撤去については、所有者（管理者）である氏子の方々が処理することとなるが高所作業となるため困難であるとのこと。そのため、氏子総代は造園のクライマーによる高所の枝撤去と枝払いを考慮して見積もりを取るとのこと。市としても、委託している造園業者に見積もりを取り、参考として見積もりをお知らせすることとした。また、枝撤去と枝払いは文化財の現状変更届が必要であるため書類の様式を追って提示することとした。

5 その後の処理について

- (1) 10月16日付けで現状変更届が提出（作業期間 10月21日～26日）
※氏子総代は、盛岡市内の寿広（造園業登録）にクライマー作業依頼
- (2) 同日付けで許可（郵送）
- (3) 後日、田村神社のスギの被害状況等を市長、副市長に報告（次長、課長）
- (4) 10月23日付けで完了届が提出され収受
- (5) 10月28日に田村神社氏子総代表の●●●●氏が担当課に来庁し相談。
（相談内容）

今回の台風19号による田村神社スギの枝折れの撤去と枝払いは30万円弱となり、管理者である神社側が負担する場合は、神社の氏子の方々に負担してもらうこととなる。しかし、その度に高額な負担となり、また、氏子も高齢化し後継者も減少していることから対応できない。ひとつは、今回の経費について市として一部負担できないか、また、今後もその都度このようなことが出てくるおそりがあり、この木も老木で以前の調査でも50%以上空洞化しており、今回折れた枝をみても虫食いもあるため、市指定文化財の解除し倒木はできないかとの相談であった。

（担当課として回答）

所管課としては、文化財は基本的に所有者（管理者）が管理していただくものであり、市はほかにも天然記念物（樹木）があるが、それぞれ所有者に協議して保全管理の理解を図っている。しかし、田村神社のスギは大木で隣接に住宅もあることから、氏子の方々の管理も困難なのは理解している。今回の台風被害については、所有者（管理者）で対応してもらうこととなるが、市としても対応できるものがあるかを検討してみる。また、今後の文化財の解除については、今回の現状変更届が提出されたこともあり、次回の12月予定の文化財調査委員会に田村神社のスギについて協議する予定としたい。しかし、指定していない樹木の場合であれば、所有者が伐採するものとなるが、田村神社のスギの場合は重機による対応となるため、数十万から百万円を超える恐れもあり、その費用がまた課題となると思われる。